

殺虫剤

ISKテルスターフロアブル



殺虫剤分類

3A

農林水産省登録	第23430号
有効成分	ピフェントリン・・・・・・・・・・ 7.2%
性状	類白色水和性粘稠懸濁液体
人畜毒性	劇物
有効年限	5年
包装	(100mL × 10本) × 2函 167mL × 20本 335mL × 20本

特長

✓ 幅広い殺虫スペクトラム

チョウ目害虫、アブラムシ類、カメムシ類、ヨコバイ類などのカメムシ目害虫、アザミウマ類など多くの害虫にすぐれた効果があります。

✓ 使用時期の幅が広い

収穫近くまで使用することができます。

✓ 汚れが少ない

フロアブルで高希釈倍率なので、作物表面の汚れが目立ちません。

✓ 薬剤調製が簡単

フロアブル化により、粉立ちがなく薬液調製が簡便です。

適用作物と使用方法

作物名	適用作物名	希釈倍数	10アール当り使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピフェントリンを含む農薬の総使用回数
かんきつ	カネタタキ アブラムシ類	3000倍	200~700ℓ	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	カメムシ類 アザミウマ類 ミカンハモグリ ガ コアオハナムグ リ ケシキスイ類 ミカンバエ成虫	3000~6000倍					
	チャノミドリヒ メヨコバイ	6000倍					
ぶどう	チャノキイロア ザミウマ	4000倍		収穫14日前まで	1回		2回以内 (散布は1回以 内、くん煙は1回 以内)
おうとう	ハダニ類	3000~4000倍				散布	
	ショウジョウバ エ類 カメムシ類						
もも ネクタリン	カメムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類	3000倍			収穫前日まで		
	アブラムシ類	6000倍					
なし	シンクイムシ類 ハマキムシ類 アブラムシ類 ハダニ類	3000倍			2回以内		2回以内
	カメムシ類	3000~6000倍					
かき	チャノキイロア ザミウマ カキノヘタムシ ガ	3000倍			収穫3日前まで		
		3000~6000倍					
びわ	カメムシ類	3000倍	4ℓ			無人航空機によ る散布	
		30倍					
小粒核果類	シンクイムシ類 アブラムシ類 カメムシ類	3000倍	200~700ℓ				
りんご	シンクイムシ類 ハマキムシ類 キンモンホソガ アブラムシ類 ギンモンハモグ リガ ハダニ類 カメムシ類 ヨモギエダシャ ク	3000倍	200~700ℓ	収穫前日まで	1回		1回
キウイフルーツ	カメムシ類 クワゴマダラヒ トリ				2回以内		2回以内
トマト ミニトマト	オンシツコナジ ラミ	4000倍	100~300ℓ		3回以内	散布	3回以内
なす	アブラムシ類 ハダニ類						
きゅうり	アブラムシ類						
ねぎ	ネギアザミウマ						
未成熟とうもろ こし	ハダニ類				収穫14日前まで		
エンサイ	オンブバッタ				収穫前日まで		
					収穫7日前まで		
	チャノコカクモ ンハマキ チャハマキ チャノミドリヒ メヨコバイ				2回以内		2回以内

茶	チャノキイロア ザミウマ カンザワハダニ チャノホソガ ヨモギエダシャ ク	3000倍	200~400ℓ	摘採14日前まで		
きく	ミカンキイロア ザミウマ ハダニ類	2000倍				
ばら カーネーション	ハダニ類	4000倍	100~300ℓ	—	3回以内	3回以内
宿根かすみそう	シロイチモジヨ トウ					
トルコギキョウ りんどう	ヒラズハナアザ ミウマ					

※本内容は2023年6月7日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項



- 使用前に容器をよく振ってから使用すること。
 - 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
 - かんきつのアザミウマ類への使用にあたっては、ミカンキイロアザミウマでは効果が劣ることがあるので使用をさけること。
 - 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
 - ・ 散布は散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ・ 散布に当っては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - ・ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ・ ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
 - ・ 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけること。
 - ・ 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
 - 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用をさけること。
 - 本剤の散布の際に着用していた衣服は養蚕作業に用いるものと区別すること。
 - 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
 - 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- ※ 薬液のかかりにくい葉裏まで、ていねいに散布してください。ピレスロイド系殺虫剤との連用はさけ、他系統薬剤とのローテーションで使用してください。

安全使用上の注意事項



- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験で筋弛緩薬（メトカルバモール製剤等）の投与が有効であると報告されている。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

魚毒性等

- ・水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池周辺での使用はさけること。
- ・水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
- ・無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。
- ・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきることを。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

保管

直射日光をさけ、なるべく低温で鍵のかかる場所に密栓して保管すること。